



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年11月24日
5年度第23号

勉強の秋、読書の秋、じっくり楽しみながら取り組みたいですね

先週17日(金)は学習参観に多数ご参加くださりありがとうございました。児童玄関前で「自学ノート展」が開かれていたのもご覧いただけただかと思えます。参考になるよいノートの例に「大事なところに赤の下線が引かれていて、ポイントがわかりやすくなっていますね」「授業で習ったポイントを自分の言葉でまとめたり問題に挑戦したりしていますね」等、担任の先生のコメントが書かれています。

自学ノート5冊達成ごとに金メダルシールで表彰しています。1年生にも金メダルの子が増えてきています。上級生はダブル(10冊)達成、トリプル(15冊)達成の子もちらほら…。こうした自主学習の積み重ねが自分の力になり、自信になり、毎日の楽しみにもなればよいと思います。勉強の秋です。

さて、21日(火)からは、図書委員会の企画として、ランチルームで「おすすめの本」の紹介が始まっています。図書委員と各学年の代表の子が発表をします。初日は委員会担当の松島先生が見守る中での紹介でした。これからいろいろな本が紹介されそうです。もともとよく本に親んでいる荻っ子ですが、それぞれのペースでよりいっそう読書の秋を過ごしてほしいと願っています。

暦の上ではもう冬ですが、もうしばらくはそれぞれの秋をじっくりゆっくり楽しみましょう。

11/18(土) 黒部市少年少女活動実践意見発表会にて

今年度の意見発表会は18日(土)、市役所で開催されました。本校からは代表の6年生が「柔道での成長」と題して意見発表を行いました。

<発表の主な内容>

私は小さい頃から兄弟と共に柔道を続けています。コロナで試合がなかった間は家で父に教わりながら練習を続けました。つらくても「強くなりたい」という目標をもって頑張った結果が出たのか、その後は県の大会で優勝できるようになりました。しかし上には上がいます。今年の夏の全国での練習会では他県の選手に全然勝つことができずショックでした。憧れの柔道選手 阿部詩(あべ うた)選手が言っていた「負けたのには理由がある」の言葉のとおり、自分が負けたことの原因を考え、全国大会出場を目指して、これからはもっと強くなりたいと思っています。

小さい頃からの自分だけの体験を基にした素晴らしい意見文でした。16日(木)の朝に全校の前で発表した練習の成果を発揮し、本番では落ち着いて発表していました。会場では何度もうなずきながら聴いている人もいて、私も胸がじんときまりました。発表が終わると会場には大きな拍手が鳴り響きました。

この日は、善行賞の表彰もあり、団体の部として本校の計画委員会も受賞しました。

永井先生 よろしくお願ひします

荻生小では一人一人の教員の授業の持ち時間が多過ぎるという問題があり、それに対応するために、先週から特別の講師として永井 肇(ながい はじめ)先生に来ていただいています。毎日午前中だけの勤務ですが、いくつかの学年の体育や図工、理科等を担当してもらっています。長年黒部市内の小学校で勤務しておられた経験を生かし、あっという間に子供たちの心をつかんで指導に当たってもらっています。

学級担任は授業の準備や評価、学級の事務等に充てる時間が少しだけ増え、心の余裕も増えてきました。2学期末に向け、皆で頑張ります。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第23号への感想

年 児童名

花壇じまい作業を子供と大人のボランティア・リレーで行いました

小春日和の21日(火)、22日(水)の昼休みに花壇じまいの作業を行いました。担当の芦崎先生の呼びかけで集まったボランティアの子供たちが、花株を抜いて片付け、草むしりも行いました。22日(水)の夕方には教職員と地域のボランティアの方で残りの作業を行いました。お陰ですっかり花壇が片付きました。なお、一人一鉢のベゴニアは各自で家に持ち帰りました。鉢に植え替えて育てれば冬越しさせることができるそうです。ぜひ各ご家庭で楽しんでみてください。



シリーズ「教室におじゃまします」11/20(月)1年道徳科の巻

この日の道徳は鈴木教頭先生との学習でした。最初に先生から「優しい人ってどんな人？」という質問が出されました。お姉ちゃん(遊んでくれるから)、パパ(いろいろ買ってくれるから)などと考えたところで教科書の「はしのうえのおおかみ」を読みました。丸太の一本橋の上で我先に通ってばかりだったオオカミが、ある日大きなクマと鉢合わせします。するとクマはオオカミの体をひょいと抱き上げて進行方向へ通してくれました。何かを感じたオオカミは、次から自分も同じような行動をするようになります。「オオカミさん、優しくない」「初めはいばってる」「最後は優しいよ」という子供たちのつぶやきに「きっと途中で変わっているよね」と先生。そこからオオカミの気持ちの変化を子供たちなりに考えていきました。「最初のオオカミは『どけどけ』って言ってウサギをどかせていい気分」最後にウサギをだっこしているオオカミについては、「クマさんにだっこされていい気分だった」「だからウサギさんもいい気分になれるようにしたんだと思うよ」といった意見が出ました。教科書の絵にウサギとオオカミの気持ちを書き込む吹き出しがあり、そこにそれぞれの気持ちを書き込みました。最後は「やさしい人になるためにたいせつにしたいこと」をワークシートに書きました。優しさについてたくさん考えた1年生でした。



おまけの<ひとりごと> 22日に花壇の片付けに来てくださった地域ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。春から複数回参加していただいた方がほとんどで、すっかり顔なじみになりました。今現在本校にお孫さんが通っているという方、そうでない方いろいろですが、個人的にはかつて桜井中学校に勤めていたときの保護者の方との再会もあり、人の縁というものを感じます。「ボランティアをしてから、学校の前を通るたびに花壇の花をよく見るようになりました」と嬉しい言葉もいただきました。毎回ペットボトルのお茶1本ずつしかお渡しできないのが申し訳ないのですが、皆さん本当に頼もしい応援団です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。